

★ 映画と講演の集い ～関東大震災 100 年負の歴史をひも解く～

★ 第一部 ドキュメンタリー映画 14:00～15:20

『隠された爪痕』 1983 年 58 分

『2013 ジェノサイド 93 年の沈黙』 2016 年 18 分

1923 年 9 月 1 日マグニチュード 7.9 の地震が関東地方を襲った。死者 10 万人にも及び関東大震災である。この時、6500 名以上の朝鮮人が軍隊、警察、そして日本の民衆の手によって殺されていることはあまり知られていない。そのうえ、今なお遺骨が埋められている事実があった。



オ チュンゴン

監督・制作 吳 充 功 (2作とも) プロフィール

1955 年東京生まれ。東京朝鮮中高級学校卒。雑誌の編集などに携わったあと、横浜放送映画専門学校で学ぶ。映画「隠された爪痕」「払い下げられた朝鮮人」など、2023 年度チ・ハクスン (池学淳) 正義平和賞受賞。

『隠された爪痕』を観て 今村昌平 (映画監督)

何と云っても、このドキュメンタリーの主役『アボジおじさん』が魅力的なのだ。～中略～ 大正十一年、大震災の前年に「日本に行けば白い飯が食える」と聞かされた 22 歳のアボジさんは、朝鮮の貧しい村から東京へやって来た。その一年後大震災がおき、朝鮮人虐殺にモロに巻き込まれ、兄を殺され、自らも傷害を受ける。～中略～ 勿論アボジさんにとってこのショックは凄まじく、その後二十年間も夜うなされたり暴れたりしたという。終りに近く、殺された朝鮮人の死体を集めて焼いたり埋めたりした

荒川べりに、日本人証言者の一人である老人 A さんとアボジさんが並んで立つ。A さんは、意図的に隠され、風化してゆく虐殺の事実を、子々孫々にまで語り伝えたいと云う。アボジさんは A さんの手を取って泣く。『くやしかったよ… 本当に』決して論理的でない庶民の言葉で語られたこの記録の中で、最も感動的な部分であり、最も鋭く、我々を衝いてくるカットなのである。私は、私の主催する学院からこのような力強い映像を創るドキュメンタリストが出たことを心から誇らしく思う。(1983 年・記)

★ 第二部 講演 15:30～16:30

『隠蔽された横浜の朝鮮人虐殺』

朝鮮人虐殺は関東大震災で初めて起きたことではなく、朝鮮半島強制併合の以前からあった。植民地支配に抵抗する民衆運動を朝鮮総督府が徹底弾圧し、日本軍が「殲滅(せんめつ)」と称した大量虐殺を繰り返し行ってきたその延長に、1923 年 9 月の関東大震災時朝鮮人大虐殺 (ジェノサイド＝民族大量虐殺) が起きたのだった。



講師：山本すみ子さん

(関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会代表)

山本さんは横浜の小学校教諭だった 1973 年、関東大震災 50 年に際して市内の状況を調べようと図書館に足を運んだ。そこで震災当時の子どもたちの作文に虐殺の事実が多数あることに驚き、「埋もれた加害の歴史を学ぶ必要がある」と教師仲間と研究会を立ち上げた。震災体験者を訪ねたり、個人の日誌や市の資料を集めたりして、震災 90 年の年に論文を発表した。震災から 100 年の今年、神奈川県が内務省に朝鮮人虐殺の状況を報告したとみられる文書が見つかったと、市民団体 (山本すみ子さん代表) が 9 月 4 日に記者会見して発表した。

2023 年 12 月 2 日 (土) 14:00～16:30 (13:30 開場)

茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階 コミュニティーホール

参加費：700 円 学生：無料

★「横浜における朝鮮人虐殺パネル展」あります

主催：ピースカフェがさき / 協力：チームみつばち・関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会

★予約・問い合わせ：0467-53-4448 (おごせ) 080-5643-8352 (こぬま ショートメールのみ)